# 知立市の小中学校　令和５年度の挑戦

## 知　育　立　志

知ろうとする探究心を育て　志を立てたくましく歩む子を育てる

**令和5年度　学校教育方針**

1　確かな学力を育む教育を進める。
2　豊かな人間性を育む教育を進める。
3　健康や体力を育む教育を進める。

### 令和5年度　重点努力事項

**1　確かな学力を育む教育**
ICTも継続的に活用して、学ぶことに興味関心を持ち、個性を生かして他との協働によって考えを深め、知識や情報を関連付　けて課題を解決する姿勢を育むと共に、個々の能力や適性に合わせた学習を行うことにより、思考力、判断力、表現力等の向上を図る。

**2　豊かな人間性を育む教育**
人権教育や道徳教育、多様な体験活動を充実させることにより、自己肯定感を高め、自他を大切にする気持ちを育て、いのちを尊ぶ態度、多様な考えを受け入れる姿勢、規範意識の高揚を図る。

**3　健康や体力を育む教育**
心身の健康、食や体力に対する意識を高め、望ましい食生活や運動の習慣化を図ることにより、生涯にわたって安全で健康的な生活を営む資質の育成を図る。

**4　きめ細かな指導の充実**
一人一人の教育的ニーズに即した指導を進めるために、少人数指導や特別支援教育・外国人児童生徒教育等の指導法を工夫し、教育環境の充実を図る。

**5　学校・家庭・地域との連携の推進**
学校・家庭・地域との連携を密にするために組織の在り方を見直し、積極的に情報発信を行うとともに、保護者、地域人材の教育活動への参画の推進を図る。

**6　教職員の資質向上と働き方改革の推進**
教職員の自己研鑽を支援し、研修の機会を創出するとともに、教育活動の多面的な見直しと望ましい働き方の実現を図る。

## 知立小学校

校長　伊藤　雅彦
児童数　815　人
学級数　31　学級

**本校の特徴**
開校150周年目。長い歴史を誇る学校であり、地域の心のよりどころとして、学校に寄せられる期待は大きく、地域と連携して教育活動に取り組んでいます。

**今年度の挑戦**
「笑顔あふれる学校」の実現をめざし、生きる力を育む教育活動に取り組みます。

**○主体的な学びのできる子の育成**
子どもたちが主体的・協働的な学びを進められるよう、ICT機器や体験的活動を効果的に取り入れ、学習を展開します。

**○個々が活躍できる場の重視**
自分のよさや可能性に目を向け、個性を生かしながら伸長させる場をつくっていきます。学校生活に喜びを感じ、一人一人の自己有用感を高めます。

**○心と体を育む活動の充実**
命を大切にする心や他人を思いやる心を育て、人権意識の向上や「おあさご運動」(あいさつ運動)を推進します。また、生涯にわたって安全で健康な生活を営んでいくたくましさを培います。

## 知立西小学校

校長　丹　節生
児童数　581　人
学級数　22　学級

**本校の特徴**
開校50年目。60分放課を生かした「なかよし活動」(異学年集団活動・縦割りグループ活動)、「食まるファイブ」を活用した食育、他とのかかわり合いを通した学習活動に取り組むことで豊かな人間性の育成に取り組んでいます。

**今年度の挑戦**
自他を大切にし、
何事にもあきらめずに挑戦するたいようの子が育つ学校

**○「豊かな心」の育成**
内容項目の重点化を図り、道徳科を要として教育活動全体を通じて道徳教育を推進します。

**○「確かな学力」の育成**
体験活動を取り入れた学習活動を推進し、学びへの意欲を高め、学力の定着を図ります。

**○「あたたかい人間関係」の構築**
困ったときには、ためらわずに周りに助けを求め、励ましあうことができる人間関係づくりを進めます。

## 八ツ田小学校

校長　丹羽真由美
児童数　387　人
学級数　19　学級

**本校の特徴**
開校48年目。(昭和51年開校) 八ツ田式学級力向上プロジェクトを学校力に発展させ、安心して過ごせるクラスや学校づくりに力を入れています。笑顔があふれ、美しい歌声が響き渡り、地域・外部講師の方々とのつながりを大切にした活動を行っています。

**今年度の挑戦**
**○ 一人一人を活かし、一人一人が活きる学校**
子どもたちが、自分の中の新たなよさを発見したり、よさを生かした活動をしたりする中で、自らの価値や成長を感じられるようにします。また、子ども同士、子どもと教師、子どもと地域のつながりを大切にすることで、それぞれのもつ個性やよさが互いに響き合い、自己の有用感や成長を感じられる学校を目指します。

**○「あたたかい学校」あいうえお**
「あ」いさつ　「い」のち　「う」たごえ　「え」がお　「お」もいやり
を合言葉に、あたたかい人間関係を育みます。

**○ 学級力向上プロジェクト**
自分たちの考えで、クラスをよりよい方向へ作り上げていく学級力向上プロジェクトを人間関係づくりの中核とし、互いを尊重しながら成長できる学級づくりを行います。その中で、「他者意識」「自己有用感」「自己肯定感」「成就感」を高めます。

**○ ICTを活用した協働的な学び**
単元や授業における深い学びの姿を具体化し、協働的な学びやICTを効果的に取り入れた授業づくりを行います。

## 知立南小学校

校長　大島　稔
児童数　704　人
学級数　26　学級

**本校の特徴**
教科横断的なカリキュラムの「いきもの学習」を軸としたESD活動を進めています。その中で、自然と人との共生や命の大切さに気付き、主体的に物事にかかわり、思いや願いをもとに粘り強く問題解決する子を育成し、自己有用感を高めます。

**今年度の挑戦　子どもたちの夢を応援！**

**いきいきとしたみなみっ子が育つ「楽しい学校」**

**○確かな学力の育成**
子どもの思いや願いを大切にし、今持っている知識や技能を客観的にとらえ、子ども自身で問題を見つけたり疑問を感じたりする主体性を大切にした指導に努め、自分たちで教え合い学び合う、**楽しい授業**を目指します。

**○持続可能な社会を担う人材の育成**
コミュニティ・スクールを推進し、地域学校協働本部(みなみ育成会)と協働で学校づくりを進めます。、また、ユネスコスクール加盟校としてネットワークを活用しながら、自然と人との共生を目指すESDの視点でカリキュラム・マネジメントに取り組み、自他を認め合い、つながりを大切にする**楽しい仲間**づくりを推進します。

**○安全意識・自立意識を高める生活習慣の確立**
地域の協力を得ながら、交通安全、防災、防犯を自分ごととしてとらえ、課題に対して粘り強く考え行動する意識を高め、**楽しい生活**を自ら作り出す子を目指します。

## 猿渡小学校

校長　杉浦　正明
児童数　383　人
学級数　17　学級

**本校の特徴**
南に猿渡川、東に「弘法さん」遍照院を擁する昔ながらの風土と、人情味あふれる地域性の中で「まじめに　明るく　がんばる」の校訓と、学校・家庭・地域の連携を大切にした教育活動に取り組んでいます。

**今年度の挑戦**
**「主体的に学ぶ心豊かで元気な子ども」の育成を目指します**

**○学校が安心して過ごせる場所となる「居場所づくり」の推進**
・児童一人一人の言動を全職員のチーム体制で注意深く見守り、個の特性の理解を図ります。
・個々の思いや願いを尊重し、他との協働によって考えを深め、課題を解決する「分かる　できる　楽しい授業」づくりに努めます。

**○社会性を身に付ける「絆づくり」の推進**
・集団活動を通して互いをよく知り、それぞれの力を発揮しながら尊重し合い、ともに成長する喜びを実感できるよう努めます。

**○心身の健康と体力向上の推進**
・道徳科の学びや体験活動を通して自立心や自律性、自他の生命を尊重する心の育成に努めます。
・体育科授業の工夫や委員会活動を通して外遊びの推奨を図ります。

## 来迎寺小学校

校長　大橋直樹
児童数　664　人
学級数　26　学級

**本校の特徴**
近代国家をめざして公布された学制(1872年)を受けて全国で設置された53,000位の小学校の一つです。今年度は開校150年目を迎えます。遊歩道沿いには桜並木、中庭にはシンボルツリーでもあるくすのきが長い歴史の中で児童の育ちを見守っています。
学区教育懇談会、交通安全推進協議会、はぐくみ隊等、地域との連携と協働を大切にしています。

**今年度の挑戦**
来迎寺スタンダード(「わくわく」学びづくり・「いきいき」心づくり・「すくすく」体づくり)をを通して、SDGs未来都市の一員としての資質を高めていきます。すべての教育活動において開校150周年という節目の年度であることを意識しながら、「地域とともにある学校」の実現を進めていきます。。
重点目標
○　確かな学力の育成(知)-「わくわく」学びづくり
「分かるうれしさ」「学ぶ楽しさ」を実感できるように、学びのユニバーサル化と課題解決的な学習活動の推進に努めます。また、SDGs未来都市の一員としての意識を高めるために、17の目標に対応した系統的な学習活動からなる総合的な学習の時間の推進に努めます。
○　豊かな心の育成(徳)-「いきいき」心づくり
道徳科での学びや体験活動を通して自他の人権や命を大切にしたりする心の育成と、自分を開き、相手に寄り添う「あいさつ」を 奨励していきます。
○　健やかな体の育成(体)-「すくすく」体づくり(略)

## 知立東小学校

校長　都筑　太
児童数　313　人
学級数　16　学級

**本校の特徴**
昭和42年4月に開校し、今年度で、57年目を迎えます。校訓「なかよく　つよく　こんきよく」を合言葉に、一人一人の個性を大切にし、共に学ぶよさを生かした教育を進めています。

**今年度の挑戦**
**自ら伸びようとする子どもたちの育成と、子ども一人一人の思いや考えを大切にし、寄り添ったり、支えたりすることができる教職員集団をめざします。**

○確かな学力
多くの職員がいることを生かして、子ども一人一人に応じたきめ細かな指導を行い、基礎・基本の定着を図ります。また、体験活動やICT機器を活用した表現する場を充実させて、深い学びを目指すことにより、自ら学ぶ態度を育むとともに、表現力・判断力・応用力の育成を図ります。

○共生・連携
家庭や地域、愛知教育大学などと連携して共生教育やキャリア教育を進め、広い視野と豊かな感性をもち、夢や目標をもってたくましく生きる子を育てます。

○健康・安全
体力の向上、安心安全な学校を目指します。

## 知立中学校

校長　淵上 隆博
生徒数　596　人
学級数　18　学級

**本校の特徴**
昭和22年に開校。77年目を迎える歴史と伝統に彩られた学校です。市の中心部に位置し、校庭に聳えるメタセコイア、140m超の廊下、遊歩道沿いの桜並木がシンボルです。
教職員の総意と信頼関係を基盤とした魅力ある教育活動を通して、「一人一人のよさをとらえ、活動を支え、力を伸ばす学校」を目標に、「チーム知立中」で教育活動を推進します。

**今年度の挑戦**
**「一人一人がいきる学校　一人一人をいかす学校」**

○「豊かな人間性」を育む教育
道徳教育や人権教育、特別支援教育の充実を図り、自己肯定感や自他を大切にする気持ち、多様な考え方を受け入れる姿勢など、豊かな人間性を育みます。

○「確かな学力」を育む教育
ICTを継続的に活用し、他者との協働によって考えを深め、知識や情報を関連付けて課題を解決する姿勢を育むとともに、自ら学ぶ意欲など、確かな学力を育みます。

○「健康な心と身体」を育む教育
授業や部活動を通して健康教育の充実を図り、病気や怪我に対する自らの健康状態を常に意識し、適切に管理できる資質や能力 など、健康な心と身体を育みます。

## 竜北中学校

校長　丹羽 康二
生徒数　749　人
学級数　24　学級

**本校の特徴**
昭和52年4月に開校し、46年目を迎えます。
校訓「錬磨創造」を柱に、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を目指して、生徒・職員が一丸(チーム竜北)となり、さわやかな学校づくりを推進しています。

**今年度の挑戦**
**「自分も大事、他人も大事」という価値観を体現し、ひとりひとりが自分らしく輝く学校」**

**○豊かな人間性を育みます**
自他を大切にする心、命を大切にし、人権を尊重する心、自らを律しつつも自らのよさを発揮できる力、寛容の心、社会貢献の精神を育てます。

**○分かる授業、個を生かす授業を行います**
生徒の困り感に寄り添うきめ細かな指導や、生徒同士が関わり合い、認め合い、互いに学び合う授業を行います。
ICTを有効的に利活用しながら、生徒の学習意欲の向上、基礎基本の定着、協働的な学びの充実を図ります。

**○「居場所づくり」と「絆づくり」に努めます**
教職員は生徒の言葉に耳を傾け、その気持ちを感じ取り、理解することに努めます。そして、生徒が安心して過ごせる学校にします。
やさしい言葉が飛び交う学級、学校づくりを推進します。

## 知立南中学校

校長　福井　信也
生徒数　583　人
学級数　22　学級

**本校の特徴**
昭和57年(1982)知立中学校から分離独立した市内3番目の中学校。旧知立町役場より移植した閑院宮殿下御手植松や弓道場ががあります。多様なルーツをもつ生徒が、多様性や共生、人権を学びながら仲良く楽しい学校生活を送っています。制服は男女ともブレザータイプを選ぶことができます。

**今年度の挑戦　多文化共生社会を生き抜く生徒の育成**

**○「選ばれる南中生」**
「あいさつ、時間、身なり、思いやり」を大切にし、自他の命を尊び、自己有用感をもち、明るく行動する生徒を育てます。そして、地域とともに地域に働きかけ、社会の一員として選ばれる南中生となるよう努めます。(コミュニティ・スクールの推進)

**○確かな学力の定着と多様性・共生を生かした教育活動**
個別最適な学びの実現を目指し、分かる授業、楽しい授業、個を生かす授業を行い、基礎的学力の定着や活用力・表現力の伸長、問題解決能力の向上に努めます。また、様々なルーツをもつ生徒の多様な考えや価値観を共有し、しっかりとしたコミュニケーションをとることができる生徒を、各教科の授業や道徳教育、人権教育、命を大切にする教育で推進します。(研究推進)

**○共感的な人間関係を基盤とした生徒理解**
生徒の今まで生きてきた背景も含めて一人一人に寄り添い、かかわりを大切にし、主体性を引き出しながら、共感的な人間関係の確立を図って生徒理解に努めます。